

新キャンパスの大合奏室の命名について

京都市立芸術大学では、2023年に京都駅東部へのキャンパス全面移転を予定しており、整備予定の「大合奏室」の名称を「笠原記念アンサンブルホール」と命名することを決定しました。

ホール名に名前を冠することとなった笠原健治氏は、本学音楽学部で35年の長きにわたり非常勤講師として後進の指導に当たられたピアニスト・笠原成子（みなこ）氏のご子息で、株式会社MIXIの取締役ファウンダーを務めておられます。

この度、笠原氏からご母堂である成子氏を通じた本学との深いご縁と、芸術を学ぶ学生たちの環境整備のために本学の移転整備募金に多額のご寄付をいただきました。今回の命名決定は、本学としてそのご厚志に敬意を表し、末永く顕彰するものです。

【笠原記念アンサンブルホール完成予想図】



【笠原健治氏プロフィール】

- | | |
|-------|------------------------------------|
| 1997年 | 東京大学在学中に求人情報サイト事業を立ち上げ |
| 1999年 | 有限会社イー・マーキュリー設立，同社代表取締役就任 |
| 2001年 | 東京大学経済学部卒業 |
| 2004年 | ソーシャル・ネットワークキング・サービス「mixi（ミクシィ）」開始 |
| 2006年 | 社名を「株式会社ミクシィ」に変更 |
| 2013年 | 同社取締役会長就任 |
| 2021年 | 同社取締役ファウンダー就任 |
| 2022年 | 社名を「株式会社MIXI」に変更 |